

区 分		学 校 数			児 童 ・ 生 徒 数				
		学校総数	加入学校数	加入率	総 数	加入人数	加入率		
義務教育関係	合 計	小 学 校	569校	569校	100 %	193,470人	193,464人	99.9%	
		中 学 校	265	265	100	90,464	90,458	99.9	
		計	834	834	100	283,934	283,922	99.9	
義務教育以外関係	国 立	福大養護学校	1	1	100	8	8	100	
		高等専門学校	1	1	100	782	782	100	
		幼 稚 園	1	1	100	68	68	100	
	公 立	高 等 学 校	全 日 制	85	85	100	70,722	70,709	99.9
			定 時 制	14	14	100	1,322	1,322	100
			通 信 制	2	2	100	637	637	100
			計	101	101	100	72,681	72,668	99.9
	立	幼 稚 園	227	227	100	17,448	17,448	100	
		保 育 所	221	221	100	15,579	15,579	100	
	私 立	高 等 学 校	16	16	100	14,436	14,436	100	
幼 稚 園		161	153	95.0	24,966	23,646	94.7		
保 育 所		61	53	86.9	6,131	5,441	88.7		
合 計		790	774	97.9	152,099	150,076	98.7		
総 計		1,624	1,608	99.0	436,033	433,998	99.5		

表2 災害共済給付に係る共済掛金（1人当り年額）
（55.4.1改定）

区 分	計	設 置 担 者 額	保 護 担 者 額	
義務教育諸学校	400円	200円	200円	
高 等 学 校	全 日 制	760	190	570
	定 時 制	290	75	215
	通 信 制	89	29	60
高等専門学校	1,260	315	945	
幼 稚 園	130	35	95	
保 育 所	220	55	165	
要 保 護 者	16	16	0	

（注）上記の設置負担額は地方交付税の積算基準となる額

表3 免責特約に係る共済掛金（1人当り年額）

高校の通信制を除く学校・保育所	高等学校の通信制
10 円	1 円

表4 昭和56年度の共済掛金取入額

	昭和56年度	昭和55年度	比較増減
災害共済給付共済掛金	188,458,025円	188,969,561円	511,536円
免責特約共済掛金	4,314,593円	4,308,982円	5,611円

3 災害共済給付の状況

(1) 給付件数及び給付金額

昭和56年度の給付件数は14,820件で、給付金総額は183,084,035円である。給付別には負傷14,438件、疾病355件、障害24件、死亡3件で、負傷が全体の97.4%を占める。

学校種別に見ると、給付率（給付件数加入児童生徒数×100）では中学校が6.3%で最も高率であり、つぎに高等専門の5.37%、高等学校全日制の3.84%、小学校2.65%の順に低くなり、幼稚園、保育所はさらに低率である。

（表5）

年次の推移をみると、給付件数においては、増えつづけて来た件数が昭和52年度を頂点として以後横ばい状態であったが、昭和56年度は再び増加を示し、この傾向は、幼稚園、保育所、高校に著しい。給付金総額は障害、死亡の増減によって変動があるが医療費給付額は毎年増加しており医療の普及充実と医療費の値上りを示している。（表6）

(2) 災害発生の場合

学校種別ごとに特徴がみられ、小学校の場合は半数以上が休憩時間中に発生しており、中学校、高等学校では課外指導と教科中の災害が過半数を占める。（表7）この傾向は毎年度同様であるが、数年前と比べると、授業時間中の災害が減少し、休憩時間中の災害が増加している。